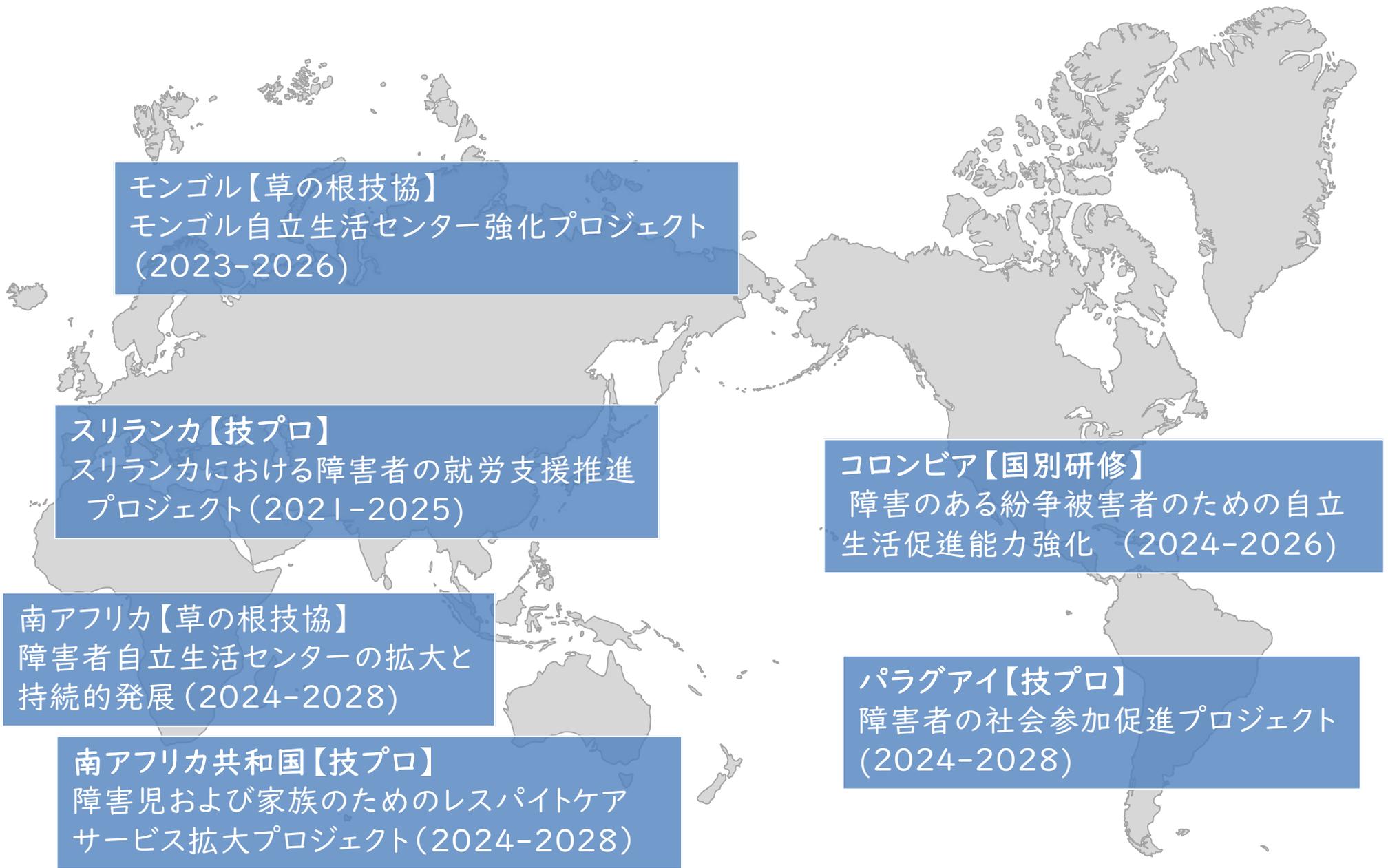


障害と開発 協力概況



モンゴル【草の根技協】
モンゴル自立生活センター強化プロジェクト
(2023-2026)

スリランカ【技プロ】
スリランカにおける障害者の就労支援推進
プロジェクト(2021-2025)

コロンビア【国別研修】
障害のある紛争被害者のための自立
生活促進能力強化 (2024-2026)

南アフリカ【草の根技協】
障害者自立生活センターの拡大と
持続的発展(2024-2028)

南アフリカ共和国【技プロ】
障害児および家族のためのレスパイトケア
サービス拡大プロジェクト(2024-2028)

パラグアイ【技プロ】
障害者の社会参加促進プロジェクト
(2024-2028)

モンゴル自立生活センター強化プロジェクト

協カスキーム:草の根技術協カ事業(パートナー型)

事業実施期間:2023年11月~2026年11月

対象地域:モンゴル国ウランバートル市



■ 実施団体:特定非営利活動法人メイン
ストリーム協会

■ C/P: Universal Progressセンター

■ 協カ内容:

・ 自立生活への理解を促進する研修及び
自立生活センターの運営に関する研修の
実施。

・ 介助者及び介助者コーディネーターの
養成、介助者と障害者のマッチングシステ
ムの作成。

・ 障害者やその家族のためのピアカウンセ
リング及び障害者の自立生活プログラムの
実施。

・ 啓発活動を通じた障害者権利への理解
を促進



パラグアイ障害者の社会参加促進プロジェクト

協カスキーム:技術協カプロジェクト

事業実施期間:2024年7月~2028年7月

対象地域:パラグアイ国ビジャリカ市、コロネル・オビエド市、カアグアス市、フェルナンド・デ・ラ・モラ市、ピラユ市



■ C/P: 国家障害者人権庁 (SENADIS)

■ 事業目的:

パラグアイの5つの都市において、地方自治体レベルで障害に関する対話のためのプラットフォーム確立・強化、障害者が対話に参加するためのプロジェクトサイトでの関係者の能力強化、他の地方自治体への展開を見据えた手法の開発を行うことによって、プロジェクトサイトでの障害に関する対話を通じて障害者の社会参加の改善を図り、対話を発展させるために学んだ教訓を県内の他の自治体へ共有する。



JICA社会保障・障害と開発プラットフォーム

事業実施期間:2023年7月～



■ 目的:

2030年SDGs1・8・10等の達成に向け、途上国における社会保障制度へのアクセシビリティの改善やより良い社会保障・福祉サービスの提供を支援するため、課題解決のためのソリューションを自由に議論し、パートナーシップを深め、共創と革新を生み出す「場」として、専門家・実務者間のネットワークを構築すること。

■ 活動内容:

- ・知見共有・共創(勉強会、ニュースレター)
- ・多様な会員同士の連携・交流
- ・人材育成・活躍の場の創出
- ・発信・広報

JICA グローバル・アジェンダ
— 開発途上国の課題に取り組む20の事業戦略

NO. 9 社会保障、障害と開発

誰もが尊厳をもって 自分らしく生きる 世界を目指して

コロナ禍で改めて浮き彫りとなった、
社会や経済の変化に
脆弱な層の生活を支える
取り組みを進めます。

社会保障の拡充や労働環境の改善、
障害者の社会参加の促進や、
障害の主流化を通じ、
誰もが尊厳をもって、
社会の一員として、
互いの暮らしを支え、
支えられながら生きる
社会の実現を目指します。



JICA SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

独立行政法人国際協力機構(JICA)は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。